

【市民企画講座】

「生物多様性から学ぼう」～生き物たちの豊かな個性とつながりから学ぶ人間関係～

雄大な立山連峰をはじめ、富山県の豊かな自然に育まれた多種多様な生物たち。そんな生物たちは、雄から雌に変わるものなどそれぞれに特徴があり、見た目から生態まで個性に満ち溢れています。

厳しい自然界の中で、相互作用しながら生き抜いている多様な生物たちから自然の摂理を学び、人間社会における多様性や人との関わり方について考えました。企画:高岡くらしの会



増田 準三さん

(NPO 法人立山自然保護ネットワーク副理事長)

高岡市ワーク・ライフ・バランス
推進認定事業所紹介

高岡市では、仕事と生活の両立に配慮し、働きやすい職場環境づくり等に積極的に取り組んでいる事業所を「高岡市ワーク・ライフ・バランス推進事業所」として認定・支援しています。

平成 29 年度の認定事業所は、5 事業所です。

株式会社小泉製作所

[業種: 製造業]

[従業員: 男性9人／女性9人]

- 研修などに積極的に参加するよう促し、研修に係る費用は会社が負担
- 「残業しない」ことをモットーにし、定時で業務を終了している
- 半日や 1 時間単位で取得できる有給休暇制度の創設、育児介護休暇について就業規則で定めるなど、休暇を取得しやすい環境を整備

有限会社タイショウ

[業種: 卸売・小売業、飲食サービス業]

[従業員: 男性3人／女性2人]

- 食品衛生管理など業務にかかる資格の取得を奨励し、資格取得に要する費用は会社で負担
- 長時間勤務にならないよう勤務時間を調整し、従業員の仕事と調和を図る
- 携帯アプリを使用するなどして効率よく業務が行えるよう会議の時間を縮小している

[業種: 建設業]

株式会社大地

[従業員: 男性 19 人／女性 3 人]

- 研修会・講習会等の開催情報を収集し、該当職員へ参加を促す
- 年次有給休暇の取得状況を把握し、一人当たり年間 10 日以上の取得を目標とする
- 長期休業取得者に対し、職場復帰前から復帰後の働き方について相談できる体制を整備

東洋通信工業株式会社

[業種: 情報通信業]

[従業員: 男性 46 人／女性 28 人]

- 毎日の朝礼を通じ、職員全員が各部署の業務内容などの情報交換を実施
- 高岡オフィスパーク内の企業で託児所(3歳未満児対象)を共同設置
- 育児等による退職者の再雇用を実施

雄基工業株式会社

[業種: 建設業]

[従業員: 男性 25 人／女性 4 人]

- 業務に必要な資格、講習会への参加費用等を負担
- 育児・介護休業等に関する規定を定め、従業員の生活環境に合わせ、仕事と生活を両立できる仕組みを構築
- 月一回安全会議を行い、事業者と従業員の意思疎通を計り業務を円滑に遂行することで残業時間の減少に繋げる

男女平等推進プラン情報誌「ありーて」17号発行

高岡市男女平等推進プラン(第2次)スタート

特集

- 高岡市男女平等推進プラン(第2次)の基本目標の紹介
男性の育児休業取得<高岡ガス株式会社の取り組み>
女性初の「高岡市消防団・副団長」佐ヶ野京子さん
「高岡市農業委員」西本恵子さん
- セピア色の写真から／杉林淑美さん
 - センター活動登録団体紹介
レインボーハート富山、劇団 P.O.D.



「ありーて」は、男女平等・共同参画社会の実現を目指し、様々な情報を発信しています。

【企画・編集】市民編集員(公募)

平成 30 年度 話スペース ぽこ あ ぽこ 開催案内

誰だって 自分の気持ちを 話していいんです
話したい 聞いてほしい 女性の方へ話スペース
ぽこ あ ぽこ

どなたでも参加できます(女性限定)

申込み・参加料不要



誰かに聞いてほしいことや、悩んでいることはありませんか？

自分の体験や気持ちを語ることで、自身の問題に気付き、解決する意欲を引き出したり、心や気持ちの整理をしてみましょう。

場所：男女平等推進センター会議室

開催日時

毎月第 4 金曜日 19:00～20:30

4/27 5/25 6/22 7/27 8/24 9/28

10/26 11/16 12/21 1/25 2/22 3/22

(11、12 月は第 3 金曜日)

情報ライブラリー
おすすめの「その時」に備えてー
特に女性は必読の本です！よりよく生き延びる
— 3・11 と男女共同参画センター —

「『その時からの歩み』」「<座談会>これからの男女共同参画センター」の 2 部構成。震災が起った 2011 年 3 月 11 日からの財団職員たちの日々の動き、思い、気づきが率直に綴られている。

災害時にセンターが担う役割とは。どんな行動を起こすかはその人自身が「きめる、うごく」ことである。財団職員たちが体験した様々な出来事から、それぞれの地域の防災の取り組み方へのヒントを見つけてほしいという願いが込められた一冊である。

よりよく
生き延びる
—3・11と男女共同参画センター公益財団法人せんだい
男女共同参画財団編集
/新潮社